

## 学習者の苦手意識を克服する「話すこと（やり取り）」の指導 -コミュニケーション・ストラテジー指導を軸としたアプローチ-

令和6年度授業力向上推進プロジェクト委員  
岐阜県立恵那南高等学校 英語科  
山川 真弘

Masahiro Yamakawa

1

## 学習者の苦手意識を克服する「話すこと（やり取り）」の指導 -コミュニケーション・ストラテジー指導を軸としたアプローチ-

Masahiro Yamakawa

### Agenda

1. はじめに
2. 研究課題
3. 実践計画
4. 実践報告
5. 成果と課題

2

2

## はじめに

3

1. はじめに

Masahiro Yamakawa

### 対象クラスについて

全日制総合学科（単位制）1年生

- 生徒数 : 1年生 49名の習熟度別上位クラス  
※習熟度別 ① 26名（※対象クラス） ② 23名
- 科目 : 英語コミュニケーションⅠ【4単位】  
※論理・表現Ⅰを1年次で開講していないため1単位増単
- 使用教科書：Power On English CommunicationⅠ（東京書籍）
- 英語の習熟度の目安
  - ・【GTZ(学習到達ゾーン)】 学年平均 D2 → [義務教育範囲の躰きあり]  
※令和6年5月ベネッセ基礎力診断テスト
  - ・KBテスト（鈴木他, 2017）：平均24.5点（26名受験）


4

4

1. はじめに Masahiro Yamakawa

**対象クラスについて：前期パフォーマンステストより 生徒A**

Be a tour conductor and introduce an interesting place for fresh experience



[プレゼン後QAのやり取り]


T1: Have you ever been there?  
 A: うーん.. No, I haven't.  
 T2: Do you want to go there?  
 A: Yes.  
 T2: Why?  
 A: うーん.. (5秒) I.. (3秒)  
 I want to stay in ger.

5

1. はじめに Masahiro Yamakawa

**対象クラスについて：前期パフォーマンステストより 生徒B**

Be a tour conductor and introduce an interesting place for fresh experience



[プレゼン後QAのやり取り]

T1: Do you like Disney Land's foods?  
 B: Foods? .. I like Disney Food is...  
 Churros.  
 T1: Me, too.  
 T2: Have you ever been to Disney Sea?  
 B: Yes.  
 T2: Which do you like better, Disney land or Disney Sea?  
 B: I like Disney Land.  
 T2: Why?  
 B: えー (2秒) Many attraction.  
 あっ、My favorite attraction and parade.

6

1. はじめに Masahiro Yamakawa

**学習者の実態 授業前 事前アンケート [10月] の結果 (25名回答)**

英語学習への苦手意識がある生徒が8割、特に「話すこと」に自信がない

**Q1. 英語学習への意識**

得意	1 (4%)
どちらかといえば得意	4 (16%)
どちらかといえば苦手	12 (48%)
苦手	8 (32%)


**Q2. 4技能5領域を自信がある順に並び替えてください。**

➔ 56% (14/25人) が「話すこと (やり取り)」を最下位に

※ 4技能では、80% (20/25人) が「話すこと (発表+やり取り)」を最下位に

**Q3. 「話すこと (やり取り)」への意識**

自信がある	0 (0%)
どちらかといえば自信がある	5 (20%)
どちらかといえば自信がない	12 (48%)
自信がない	8 (32%)



7

1. はじめに Masahiro Yamakawa

**学習者の実態 授業前 事前アンケート [10月] の結果 (25名回答)**

『やり取り』への自信のなさは、口頭での言語運用能力や文法、即興性への課題意識が主な要因

**Q4. Q3. (「やり取り」への自信の有無) の回答への理由**

<p><b>① 即興性</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・とっさに考えるのが苦手</li> <li>・すぐに答えるのが得意ではない</li> <li>・バツと喋りたいことが英語にできない。</li> <li>・急に英語で聞かれたらどう返すかわからない</li> <li>・状況に応じて対応することが苦手だから。</li> <li>・その場で考えて受け答えるのが苦手だし、考えていても頭が真っ白になってしまうから。</li> </ul>	<p><b>③ 文法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文法は覚えているけど、いざ話すとなると</li> <li>・文法がわからなくなってしまう</li> <li>・文法がごちゃごちゃになる</li> <li>・文章を作れない</li> <li>・どの文法を使えばいいかわからないから。</li> <li>・文の組み立てが苦手だから</li> </ul>	<p><b>⑤ その他</b></p> <p>(否定的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英語がわからないから。</li> <li>・完璧にできるとは思わない。</li> </ul> <p>(肯定的)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・少しならできなくらい。</li> <li>・わかる単語だけ即興で並べても雰囲気伝わって来てる気がして楽しいから</li> <li>・頑張ればできる</li> <li>・I can keep a conversation</li> <li>・わたしはできます。</li> </ul> <p>※原文のまま引用、①~⑤に発表者が分類</p>
<p><b>② 聞くこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そもそも相手が何言ってるかわからんし、何を喋っているのかを理解できないし、一つ一つの単語を聞き取れない</li> <li>・相手がどんなことを聞いてきたか、どう反応しているかが聞き取れないから</li> <li>・相手が言ったことを理解するのができない</li> <li>・相手の言ってることも理解が追いつかない</li> </ul>	<p><b>④ 話すこと</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が話すのもできないから。</li> <li>・英語で話すことが苦手だから</li> <li>・しゃべりたくても英語にできない</li> <li>・英語が話せるかわかんない</li> <li>・自分が話せない</li> <li>・何を言ったら良いのかが全く分からない</li> </ul>	

8

1. はじめに Masahiro Yamakawa

### 学習指導要領における「話すこと（やり取り）」の設定背景の確認

「対話的な言語活動」、「発信力の育成の強化」を重視し、高校現場の課題を踏まえ、「実際のコミュニケーションで活用できる技能」を育成する指導を求めている

H29告示【外国語編】中学校学習指導要領解説(文部科学省,2017)	H30告示【外国語編】高等学校学習指導要領解説(同,2018) ※強調は発表者
互いの考えや気持ちなどを伝え合う対話的な言語活動を一層重視する観点から、「話すこと[やり取り]」の領域を設定するとともに、言語の使用場面や言語の働きを適切に取り上げ、語、文法事項などの言語材料と言語活動とを効果的に関連付けて指導することとするなどの改善・充実を図った。(同,9)	授業の課題として、「特に『話すこと』及び『書くこと』の言語活動、『やり取り』や『即興性』を意識した言語活動、複数の領域を結び付けた言語活動が、適切に行われていないこと」を指摘(同,6) ↓ 小学校及び中学校との接続及び発信能力の育成の強化を図る観点から、「話すこと[やり取り]」の領域を設定するとともに、語、文法事項などの言語材料を言語活動と関連付けて、 <b>実際のコミュニケーションにおいて効果的に活用できる技能を身に付けるようにすることとした。(同,9)</b>

1. はじめに Masahiro Yamakawa

### 「話すこと（やり取り）」で育てたい「コミュニケーション」の前提

「発信力の強化」だけではなく、コミュニケーションの主体的な担い手として「協働的な相互作用による意味をデザインする」ための資質・能力を育成する必要性

- 「国際共通語としての英語」や「マルチリテラシー」の視点から「デザイン」という言語観の重要性

「コミュニケーションとは、相互主観的同一性の確保のために行われるプロセス」(高田,2011,174)  
個々の発話は、発話者の意図とした通りの予定調和的に他者に伝わるのではなく、**協働的な相互作用**によってデザインされていくものである。(仲,2022,75) ※強調は発表者

学習指導要領の求める『**実際のコミュニケーションで効果的に活用できる資質能力**』の育成

「発信」という側面だけではなく、「**発信**」と「**受信**」の双方の担い手として、「**互いの意図をわかり合おうとする**」という**コミュニケーション能力観に基づく指導**

1. はじめに Masahiro Yamakawa

### CS（コミュニケーション・ストラテジー）の定義と枠組み

Canale et.al (1980) の定義では、「CSとはコミュニケーションを維持し、故障が起こればそれを修復するとともに、故障を避け、コミュニケーションを円滑に進めるための知識や技能」とされている。

- Canale et.al (1980) のコミュニケーション能力における1つ
  - ①文法能力
  - ②談話能力
  - ③社会言語能力
  - ④**方略能力**
- コミュニケーションの3つの側面を考慮したCSの分類(泉,2016,254)

1. 産出方略 1.1 回避 1.2 言い換え 1.2.1 近似 1.2.2 造語 1.2.3 婉曲表現 1.3 転移 1.4 修復 1.5 つなぎ語 1.6 援助要請 1.7 非言語手段	2. 理解方略 2.1 繰り返しの要求 2.2 明確化の要求 2.3 確認 2.4 理解の確認 3. 相互方略 3.1 発言権交代 3.2 話題転換 3.3 介入 3.4 応答 3.5 ポライトネスストラテジー
--	---

目的に応じて、CSを効果的に自ら、選択肢、組み合わせてうまく活用することが大切(同)

↓

さまざまなCSの**形式、意味、機能への理解**を深め、自分で判断し活用できるような指導が必要

1. はじめに Masahiro Yamakawa

### 先行研究におけるCSの指導の意義

「限定的な」知識・能力でのコミュニケーションを活性化を促す  
➡ 外国語科の目標である「見方・考え方」を働かせる機会の充実

- 日本の学校教育の文脈でのCS指導の意義(柴田他,2020)

いわゆる「正しい」言語知識の獲得と言語運用の自動化には膨大な労力と時間がかかります。日本の多くの英語学習者は**限界のある語彙、文法、語用の知識と能力で、さまざまな英語話者とコミュニケーションを行わざるを得ません**。したがって、方略的能力の指導に重点的に行うことは理に合っている。(中略)私は**日本のような限定的な授業時間と使用機会の地域こそ、CS指導を重点的に行うべき**と考えています。(同,152) ※強調は発表者

英語に触れる機会が限定的な日本の高校生にとって、CSの適切な活用は、言語知識や言語運用能力の不足を補い、円滑なやり取りやコミュニケーションの修復や維持を可能にし得る。

➡ 高等学校の英語の授業における「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」の涵養に効果的であると考えられる。

1. はじめに Masahiro Yamakawa

### 授業内の言語活動で「やり取り」の機会を生み出す発問の役割

「発問」は主体的・対話的な深い思考を促し、児童生徒との英語でのやり取りを生む道具

- 「やり取り」を促す発問 (田中,2022,38)

発問を使った授業では、英語で授業を行うだけではなく、**生徒との即興的なやり取りをしながら、主体的・対話的で深い学びを実現させることが可能である** ※強調は発表者

- 発問の役割 「発問が生み出す5つの関わり」 (田中・田中, 2009, 18-19)
  - ①教材との関わり
  - ②生徒同士の関わり
  - ③教師と生徒の関わり
  - ④社会との関わり
  - ⑤自分との関わり

➡ 学習者が教材、他の学習者、教師、社会、自分自身との関わりから、自分自身の考え・意見・感情に気づき「やり取り」をする必要性を実感できる

13

13

1. はじめに Masahiro Yamakawa

### 本実践における「やり取り」を充実させる「CS」と「発問」の関係性

「発問」による言語活動を中心に位置づけた授業展開を「CSの適切な活用」を促す学習活動で支え、「やり取り」の充実へ

(授業の中心)「発問」による言語活動 【思考力・判断力・表現力】

やり取り

「互いの意図をわかり合おうとする」  
コミュニケーションに必要な資質・能力

言語活動の充実・活性化

(言語活動に向けて)本文を活用した言語材料の定着活動 【知識・技能】

(帯活動)「CS」の活用を促す定着活動 【知識・技能】

14

14

# 2

## 研究課題

15

15

2. 研究課題 Masahiro Yamakawa

### 本実践の研究課題

対象学級の大半が苦手意識のある「話すこと(やり取り)」において、CSの活用により、限定的な知識・技能を最大限駆使しながら、「互いの意図を引き出せる」コミュニケーションの担い手を育成する。

- ① 帯活動や実技小テストを活用し、多様なCSの導入と定着活動  
➡ 【知識・技能】 確かな言語知識と言語運用能力の育成
- ② 適切なCS使用を促す言語活動とパフォーマンステスト  
➡ 【思考力・判断力・表現力】  
課題達成に向けて「互いの意図を引き出す」やり取りの実践
- ③ 段階的でスパイラルな学習とその振り返り  
➡ 【主体的に学習に取り組む態度】  
「話すこと(やり取り)」の経験と自信、互いを尊重する態度

16

16

## 3

## 実践研究の計画

17

3. 実践研究の計画 Masahiro Yamakawa

### CS指導の計画づくりにあたって

3つのステージによる段階的な指導の必要性 (泉,2016,253) ※強調は発表者

①第1ステージ：動機付け、不安解消ステージ  
【ねらい】英語でコミュニケーションをすることへの不安をなくし、積極的に英語を発話し、成功体験を多く経験することで、英語で聞いたり、話したりすることに自信をもたせ、動機付けを高めること

②第2ステージ：メタ認知トレーニングステージ  
【ねらい】ストラテジー使用について意識を向けさせ、方略の有効性に気づかせ、自ら積極的に方略を使用し、メタ認知能力を高め、方略を習得する

③第3ステージ：流暢さ（適切性）と正確性増強ステージ  
【ねらい】インタラクションやコミュニカティブ・タスクの中で、流暢さと正確性を高め、より高度な口頭英語能力を習得すること

18

18

3. 実践研究の計画 Masahiro Yamakawa

### 【第2・3ステージ】CSの導入から定着・活用へ 帯活動を活用し、段階的でスパイラルなCS指導

日程	ステージ	指導内容 (CSの種類)	タスクの内容
第1回	2	つなぎ言葉 (filler), 反復 (echoing)	Picture description
第2回	2	CSの意義について	Analyze conversation
第3回	2	繰り返しの要求 (Asking for repetition) 相手の理解の確認 (Comprehension Check)	Spot the differences Reading for detail
確認テスト	3	小テスト① (Asking for repetition) (Comprehension Check)	
第4回	2	反復・フィラー (Echo, Filler)	Spot the differences
確認テスト	3	小テスト② (Asking for repetition) (Comprehension Check)	
第5回	2	賛成・反対 (Showing agreement or disagreement)	Small Talk ←研究授業
第6回	2	質問 (Asking for clarification) (Dealing with Question)	Word wolf
テスト	3	パフォーマンステストの後半QA	

19

19

3. 実践研究の計画 Masahiro Yamakawa

### 本実践研究の計画

～帯活動と小テストを活用した段階的にスパイラルな指導～

④【成果・課題の検証】生徒アンケート・授業者の振り返り

③第3ステージ：流暢さ（適切性）と正確性増強ステージ  
『言語活動』 → CSの適切な活用  
『パフォーマンステスト』 → 「話すこと（やりとり）」の評価

②第2ステージ：メタ認知トレーニングステージ  
『言語活動』 → CSの活用を促し、定着を図る  
『小テスト』 → CSの定着を確認する

①第1ステージ：動機付け、不安解消ステージ  
『帯活動』 (リテリング) → 「話すこと（やり取り）」「書くこと」に関する自信の涵養を図る  
(トリオ・ディスカッション)

20

20



21

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**  
 「ポジティブなクラスカルチャー」と「成長マインドセット」の導入

●EMDR (Ena Minami Discussion Rules) として提示・徹底

How to make a great discussion ~Ena Minami Discussion Rule~  
 「よいディスカッションのコツ」 ~Rule of thumb for a discussion~

**E: Express in Your Own Words**  
 Share your ideas in your own English. Don't need to be perfect.  
 ⇒自分の知っている表現を駆使して（これが本当の英語力の1つ）、言いたいことを伝えよう！  
 中学校までの英語で十分にやり取りできます！

**D: Don't worry about mistakes**  
 It's okay to make mistakes. We learn from them, so just share your ideas.  
 ⇒失敗を恐れず、まずは話して互いに協力し解決策を導き出そう！

**M: Make Connections**  
 Try to link what we're talking about to your knowledge or experience.  
 This helps everyone understand better.  
 ⇒話を結びつけたり、質問したりしながらお互いの言いたいことを確認し、話を深めよう！  
 >What?/思いやりなく I don't know. (思考停止・議論停止)  
 ◎Sorry? Do you mean~? Do you want to say~? (寄り添った質問)

**R: Respect different opinions**  
 Listen to others and respect their opinions.  
 this is the most important thing in discussion. Be an active listener!  
 ⇒お互いの意見を尊重して、話しやすい雰囲気が大切！  
 ×否定は NG、◎勇気をもって英語で伝えたい内容をしっかりと受け入れよう！

22

22

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**  
 リテリングとトリディス（上山2022）の活用により、話すことへの「慣れ」・「自信」を涵養

【リテリング】毎回記録を残す（WPMや言及できた内容について）

- Step 1 Word Counterを活用し、リテリング [WPMの伸びを可視化]
- Step 2 負荷を調整し、それぞれの実態に基づく形式でリテリング [使用できたキーワードや言及できた項目をチェック]  
 ⇒話した内容を3分間Writing [発話内容を可視化][書ける量の変化を実感]
- Step 3 タブレットを用い、自身の納得の行くリテリング動画を提出 [粘り強い取り組みを促す][自身のパフォーマンスを振り返る]  
 ⇒各段階のなかでも、活動等形態を変えながら、繰り返し実施する

Check your writing!		Amount				Date			
No.	Content/Key Information	1	2	3	4				
1	【自分の個人英単語】 自身の得意、得意な単語が定まりましたか？								
2	【自分の得意な英単語】 単語が定まりましたか？								
3	【発話内容】 話した内容を振り返りましたか？								
4	【話しやすさ】 話しやすくなりましたか？								
Name									
Date									

Write your retelling  
 1) Date

23

23

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**  
 口頭でのRetelling後に、発話内容を3分で書く 全6回（11/5~19）

生徒 A

Part 1 (3回)

Part 2 (3回)

1, 2, 3, 4, 5, 6

24

24

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**

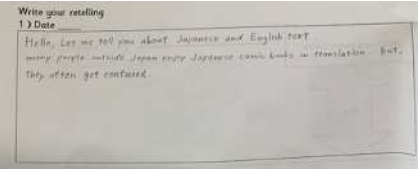
口頭でのRetelling後に、発話内容を3分で書く 全6回(11/5~19)

生徒B

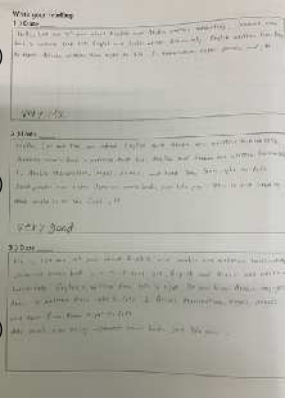
※②、③欠席のため4回

Part 1 (1回のみ)      Part 2 (3回)

①



④



⑤

⑥

25

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**

生徒のリテリングの記録(3分間) 生徒A【Part 1】

① 11/5 56 words WPM 18.7	Hello, let me tell you about comic books. Do you like Japanese comic books? Nowadays, many people outside Japan enjoy Japanese comic books in translation. But they often get confused because Japanese comic book pages, panels and Japanese vertical text go from right to left. But English translations, pages and panels go <b>from right to left!</b>
② 11/7 64 words WPM 21.3	Hello, let me tell you about <b>Japanese</b> comic books. Do you like Japanese comic books? I see, nowadays, many people outside Japan enjoy Japanese comic books in translation. Because Japanese comic books' pages, panels and Japanese vertical text go from right to left, <b>the three have the same flow running from right to left.</b> But English translations, pages, panels go from <b>right to left.</b>
③ 11/11 77 words WPM 25.7	Hello, let me tell you about comic books. Do you like Japanese comic books? I see, nowadays, many people outside Japan enjoy Japanese comic books in translation. But they often get confused because Japanese comic books' pages, panels and Japanese vertical text <b>read from right to left. The three have the same flow running from right to left.</b> But <b>English translation pages and panels go from left to right. English horizontal text goes from left to right.</b>

26

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**

生徒のリテリングの記録(3分間) 生徒A【Part 2】

④ 11/14 65 words WPM 21.7	Hello, let me tell you about comic books translated in Arabic. Do you know how translation in Arabic? Ok. English is written horizontally from left to right. Arabic is written horizontally, but it is read from right to left. Arabic translation pages, panels and text all flow <b>from right to left.</b> Arab people can enjoy Japanese comic books just like you. This is not surprising.
⑤ 11/15 71 words WPM 23.7	Hello. Let me tell you about Japanese comic books translated in Arabic. Do you know how translation in Arabic? OK. English is written horizontally from left to right. Arabic is written horizontally but it is read from right to left. <b>Arabic translator pages, panels and text all flow from right to left.</b> Arab people can enjoy Japanese comic books just like you. This is not surprising. Because most of the Arab...
⑥ 11/19 67 words WPM 22.3	Hello, let me tell you about comic books translated in Arabic. Do you know how translation in Arabic? Ok. English is written horizontally from left to right. <b>Arabic is also written horizontally but it is read from left to right.</b> In Arabic translations, pages, panels and text all flow <b>from left to right.</b> Arab people can enjoy Japanese comic books just like you. <b>This is not surprising.</b>

27

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ**

生徒のリテリングの記録(3分間) 生徒B【Part 1, 2】

① 11/5 25 words WPM 8.3	Hello, Let me tell you about <b>Japanese and English text.</b> Many people outside Japan enjoy Japanese comic books in translation. But, they often get confused.
④ 11/14 46 words WPM 23.7	Hello, let me tell you about English and Arabic written horizontally. Japanese comic book is <b>vertical text</b> too. English and Arabic <b>written horizontally.</b> English written <b>from left to right.</b> Arabic written <b>from right to left.</b> In translation, pages, panels, and text go <b>from right to left.</b>
⑤ 11/15 58 words WPM 22.3	Hello, Let me tell you about English and Arabic are written horizontally. <b>Japanese comic book is vertical text as well.</b> English and Arabic <b>are written horizontally.</b> In Arabic translation, pages, panels, and text flow <b>from right to left.</b> Arab people can enjoy Japanese comic books just like you. <b>This is not surprising. Arab world is in the East...!?</b>
⑥ 11/19 68 words WPM 22.3	Hello, Let me tell you about English and Arabic are written horizontally. <b>Japanese comic book is vertical text next to it.</b> English and Arabic <b>are written horizontally.</b> English is written <b>from left to right.</b> Do you know <b>Arabic languages?</b> Arabic is written <b>from right to left.</b> In Arabic translation, pages, panels, and text flow <b>from right to left.</b> Arab people can enjoy Japanese comic books just like you.

28

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ

生徒のリテリングの記録（3分間） 生徒A B 【Part 1, 2】

- 生徒A、Bの筆記リテリングの変化

【形式面】

- ・語数やWPMの増加から、流暢性の向上が確認された
- ・文法面での正確性が向上した
- ex) 適切な主語の選択、受け身の使用

【内容面】

- ・語数が減少した際には、より詳細な記述が見られるようになった
- 例) Part 2 2回→3回
- 表現内容やその表現方法への配慮がみられた
- ・Hookとなる質問等を位置づけ、聞き手を想定した表現が見られた

本活動を通じ、自身の成長を実感し、第1ステージの目標である、表現活動への抵抗や不安感を解消された生徒がみられた

29

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第1ステージ】動機付け、不安解消ステージ

上山（2022）の手順に従い導入

【トリオ・ディスカッションの手順】

- Step 1 事前にお題リスト（英検準2級スピーキング問題から）を配布
- Step 2 「よく使う表現集」の確認（CS導入とパラフレーズを意識し一部編集）
- Step 3 トリオ・ディスカッション実施（テーマ選択～3-mins writingまで）
- Step 4 フィードバック（表現内容面・言語使用）

Let's enjoy Trio Discussion ~Be a good communicator~

1 開始

2 意見

3 賛成

4 反対

5 質問

6 つなぐ

7 結論

30

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第2ステージ】CS（概念）の導入

Small Talkを活用し、文脈の中でCSの効果・役割を考えながら導入

- Small Talk によるCS導入

Step 1)

“How was your weekend?”

ペアでやり取り

Step 2)

JTEとALTのモデルを聞き取り

概要を把握・確認

Step 3)

ワークシートを提示し、

発話の意図に焦点化

I. What is “CS”?

e.g. ①Masa: Hi! How was your weekend?

Nathan: Well, I went to Osaka to see some friends.

Masa: Osaka? Sounds good.

Q1. What are they talking about?

Q2. Why does Nathan say “well”?

Q3. Why does Masa say “Osaka”?

31

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第2ステージ】CS（概念）の導入

文脈の中でCSの効果・役割を考え、CSを使用する意義を確認

- Guided Discovery

Step 1)

例①と同様に②を提示

Step 2)

ペアで、文脈を意識して音読

Step 3)

発話の意図を考えCSとは何か

（使用する意義・効果等）

生徒から引き出す

e.g. ②Nathan: Masa, where should our students go for their school trip?

Masa: ① I let me see. What about going to Okinawa?

They can have some fresh experiences.

Nathan: ② Do you mean we should choose a place to have fresh experiences?

③ Why do you think so?

Masa: Yes, I want them to get to know different cultures.

Nathan: ④ I like your idea, but I think Okinawa is too far from here.

Why do Nathan and Masa say the phrases ① to ④?

①

②

③

④

★Communication Strategy (コミュニケーションストラテジー)とは?

32



4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第2ステージ】CS (言語材料) の導入

CS一覧を明示し、発音や使用できる場面の確認

- CSの表現集を確認

Step 1)  
発音と意味の確認

Step 2)  
同様の働きで使用できる表現を考える

Step 3)  
CSの活用場面を考える

表現集

● Filler

① Well,

② Let me see...

③ You know...

● Echo

④ \_\_\_\_\_? (相手の言ったキーワードを繰り返す)

⑤ You said \_\_\_\_\_, but [and] \_\_\_\_\_ (こうやって言ったけど)

● Asking clarification

⑥ Do you mean \_\_\_\_\_? (〜という意味ですか)

⑦ What do you mean by \_\_\_\_\_? (〜ってどういう意味ですか)

● Showing respect to give a different idea

⑧ I respect [like] your idea, but I think \_\_\_\_\_ because \_\_\_\_\_

⑨ I'm afraid I don't agree with you

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第2・3ステージ】CSの定着・活用

CSの活用を意識して、トリオ・ディスカッション (上山, 2022)

- 「よく使う表現集」を生徒自身で適宜CS表現を追加してアレンジ

Step 1)  
【トリオ・ディスカッションの手順】に従って実施

Step 2)  
使用できたCSの確認 + CSの仕様に関してフィードバック

◆ Useful Expressions for Discussion & Communication Strategy

活用場面 (場面)	活用表現 (トリオ・ディスカッションで使った人は緑色)	Date	1	2	3	4	5	6	7
1 開始	Let me try (let), first. (最初、最初に)								
2 意見	I think ~ because ~								
3 賛成	I agree with you because ~								
4 反対	I'm afraid I don't agree with you. (I don't think so.)								
5 質問	Excuse me, can I ask you a question?								
6 つなぐ	That may be so. (I respect your opinion), but I think ~								
7 結論	For these reasons, ~ (この理由から、)								

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第2・3ステージ】CSの定着・活用

言語活動を通じてCSの活用を促す①

- 帯活動として、CSの活用が想定される言語活動を設定
  - ・コミュニケーション・タスク (加藤他, 2020)
  - ・Conversation Strategies (David et al., 2014)
  - ・Discussion Strategies (David et al., 2012)

例 Spot Differences  
※互いにCSを使いながら間違いを探す

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第2・3ステージ】CSの定着・活用

言語活動を通じてCSの活用を促す②

- CSの活用が想定される言語活動を設定
  - ・Word Wolf

➡ゲームの中での文脈に応じてCSの活用、質問をする練習

例)

Word Wolf - Let's practice making questions and using CS in English!

Class: / / No.: / / Name: /

1. Warm-up

Q 1. What kind of questions can you ask in this game?

Q 2. What kind of strategies can you use in this game?

2. Rule

- Time: 3 min

- Procedure: ① Role Decision: picking up one role card  
② QA session: asking one question in turn  
③ Free talk: enjoying conversation with your own strategy  
④ Wasting time

3. Record

Round	Your Point	Round	Your Point
1	0		
2	7		
3	8		
4	9		
5	10		

Total: \_\_\_\_\_

4. Review

Q 1. What kind of questions did you ask in this game?

Q 2. What kind of strategies did you use in this game?

★How was this activity? (感想)

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【3ステージ】CSの定着を確認する小テスト①

全員がターゲットのCSを適切に使えるように促し、状況を確認

- 「ぐるぐる小テスト」の実施（授業内で導入・練習したCSが使用できるか確認）

Step 1) 教員が尋ねる質問を“Discussion questions”（配布済み英検準2級テーマ集）から3つ提示

Step 2) 本時の小テストでの使用するCSを定める  
（例. Echo → Showing disagreement with respect）

Step 3) 教員が1人ずつ生徒に3つの中から1つをランダムに質問して回る【1人15秒～30秒】

Step 4) 生徒は質問に応じてCSを適切に使う  
できたら合格！【評価は○×のみ】

図.ぐるぐる小テストの実施方法

※待っている間、練習OKのため、生徒は自然とペアで練習や1人でリハーサルしているため、全員合格できる⇒目的は全員がターゲットのCSを使えるようになること

37

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第3ステージ】CSの定着を確認する小テスト②

全員がターゲットのCSを適切に使えるように促し、状況を確認

- 「確認テスト」の実施（授業や小テストを通して身につけたCSが使用できるか確認）

Step 1) 教員が尋ねる質問を“Discussion questions”（配布済み英検準2級テーマ集）から3つ提示

Step 2) 教員が1人ずつ生徒に3つの中から1つをランダムに質問する  
【45秒～1分30秒】

Step 3) 生徒は質問に応じてCSを適切に使いながらやりとりする  
【評価はA・B・C】※評価の観点は『CSが適切に使えたかの【技能】のみ』

⇒ 小テスト・確認テストはなるべくシンプルに、手軽にできるように

38

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第3ステージ】小テスト②より 生徒A

事前提示の3問からその場で聞かれた2つのテーマ

【前半】

T1: At first, let me ask you a question. Which is better, to study alone or with friends?

A: **Well....** I think better to friends, with friends because Ah.. if I can't, if I don't understand a question, and..!

T1: Yeah, you can...?

A: I can question when..

T1: Okay.

T2: Very nice. I agree. I think we can enjoy studying if do it with friends.

39

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

### 【第3ステージ】小テスト②より 生徒A

事前提示の3問からその場で聞かれた2つのテーマ

【後半】

T1: Let me ask you another question. Where should we go for their school trip? What do you think, T2?

T2: Oh, I think no school trip.

A: Oh.. **I like your idea, but** we should school trip. Because school trip is very enjoying event, school event.

T1: Nice. I like his idea.

T2: Yeah, that's right.

T1: Where is the best place to go?

A: Ah... I want to えっ?

T1: Where do you want to go?


A: I want to go to Hawaii.

40

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第3ステージ】小テスト②より 生徒B**

事前提示の3問からその場で聞かれた2つのテーマ




[事前提示の3問からその場で聞かれた2つのテーマ]  
 T1: I have two questions to you two. First, which is better, to study alone or with friends?  
 B: **That's a good question.** I want friends. あっ、study with friends because teach other  
 T1: Okay.  
 T2: Sounds great. I totally agree.

41

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【第3ステージ】小テスト②より 生徒B**

事前提示の3問からその場で聞かれた2つのテーマ



[事前提示の3問からその場で聞かれた2つのテーマ]  
 T2: Let me ask you two the other question. T1, where should they go for their school trip?  
 T1: Oh, I think you should go to Daiso.  
 B: **Daiso?**  
 T2: Yeah, Daiso for school trip. What do you think?  
 B: あ、**One more.**  
 T2: I think you should go to Daiso for school trip.  
 B: **School trip? I like your idea but I disagree with you** because... I went to go Seria!  
 T2: Yeah, totally great!

42


4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【学年末パフォーマンステスト】**  
**プレゼン後に質疑応答する形で『話すこと（やりとり）』**

事前準備を十分にじて行った発表に関する質疑応答の形式で「やり取り」

●前期のパフォーマンステストと同様の形式「発表」➡「やり取り」  
 表現内容を充実させた上で評価


やり取り 15点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
a (5)	・言葉や表現の適切に使用されている。 ・必要に応じて、CSが適切に使用されている。 ・聞き手にわかりやすい音声で話している。	相手の質問に適切に反応し、関連する情報や自分の考えを詳しく話して伝え合っている。	相手の質問に適切に反応し、関連する情報や自分の考えを詳しく話して伝え合おうとしている。
b (3)	・多少の誤りはあるが、理解に支障のない程度の言葉や表現を使って話している。 ・理解に支障のない程度の音声で話している。	相手の質問に適切に反応し、関連する情報や自分の考えを話して伝え合っている。	相手の質問に適切に反応し、関連する情報や自分の考えを話して伝え合おうとしている。
c (1)	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。	「b」を満たしていない。
結果	a - b - c	a - b - c	a - b - c
Note			合計点



43

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

**【学年末パフォーマンステスト】2月実施**  
**プレゼン後に質疑応答する形で『話すこと（やりとり）』 生徒A**




T1: So, we have these questions. What kind of phone do you use?  
 A: I use Android.  
 T2: Do you want to recycle it when you have used it to the last?  
 A: Can you say it easily?  
 T2: In the future, do you want to recycle it?  
 A: Yes, yes.  
 T2: Why?  
 A: Because I usually use it to work and after that recycle.  
 T1: Okay, good. For your next phone, do you want to buy an iPhone?  
 A: Yes, I want to buy an iPhone.  
 T1: Good. Alright, this is going to be the last question. Do you think can we achieve SDGs?  
 A: Can you say it easily?  
 T1: Okay. Now, you know the SDGs, right? SDGs have lots of goals. Can we do it? Why do you think so?  
 A: Many, many times. But, in the future, we can achieve 17 goals. We still have time.

44

4. 実践報告 Masahiro Yamakawa

【学年末パフォーマンステスト】2月実施

プレゼン後に質疑応答する形で『話すこと（やりとり）』生徒B



T1: Now, questions.  
 T2: SDGs are very important. What can you do for SDGs?  
 A: Once more, please  
 T2: SDGs are very important. What can you do?  
 A: Well... For zero hunger, so don't leave food  
 T1: I really like your idea. Do you know when the limit of SDGs is?  
 A: No.  
 T1: It's 2030. So, can we achieve SDGs by 2030?  
 A: No.  
 T1: Why?  
 A: えー？ Because many many problems.  
 T1: I see. Alright, next one.  
 T2: Why did you choose zero-hunger?  
 A: Zero-hunger is interesting.  
 T2: Okay.

45

45

5

成果と課題 （2/13（木）、14（金）実施）

46

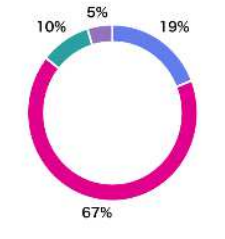
46

5. 成果と課題 Masahiro Yamakawa

生徒対象アンケートの回答より

前期と比べて英語で「話すこと（やり取り）」することへの意識は変化したか

自信がついた	4
少しは自信がついた	14
あまり自信はつかなかった	2
自信はない	1



「自信がついた・少しは自信がついた」の理由

- 「話すこと」における自信の変化を実感**
  - 「ちょっとは喋れるようになった」「最初よりは話せるようになった」など、英語を話す能力が向上したと感じている。
  - 「間の保ち方や会話の仕方が最初よりはできるようになった」「間違っても英語を話し続けることができた」など、実践を通じたスキル向上の実感がある。
- 苦手意識の克服**
  - 「英語の苦手意識が拭えない」や「英語でスピーキングをするのが苦手不安だった」など、スピーキングに対する不安はあるが、「褒めの言葉をかけたことで自信がついた」というポジティブな変化も見られる。
- 帯活動や言語活動の影響・成果**
  - 「頑張ったから」「ちゃんと取り組めたから」「ちょっと練習しました」など、努力がスピーキングの向上につながったという認識がある。
  - 「リテリングを重ねて自分の言葉で、英語で表現できるようになった」や「CSの練習で会話を続けやすくなった」など、練習方法やアプローチの違いによる成果の感じ方も表れている。

47

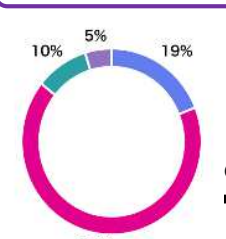
47

5. 成果と課題 Masahiro Yamakawa

生徒対象アンケートの回答より

前期と比べて英語で「話すこと（やり取り）」することへの意識は変化したか

自信がついた	4
少しは自信がついた	14
あまり自信はつかなかった	2
自信はない	1



「自信はない・あまり自信はつかなかった」の理由

- 4 課題と今後の改善点**
  - 「（パフォーマンステストで）Q&Aの応答がボロボロだった」「自分が話すだけだったらうまくできたけど質問はあまり良く答えられなかった」など、パフォーマンステストでの質問への対応に課題を感じている。
  - 「人と英語を話す機会が少ないから」など、英語を話す環境や実践の機会が不足しているという指摘もある。

◎評価の場面での自身のパフォーマンスに対して抱く印象が主な要因  
 ➡即時の肯定的なフィードバックの提供や、普段の活動場面との関連が密接に感じられるような設定により、「思うようにできなかった」生徒に対応する必要性

48

48

## 5. 成果と課題

Masahiro Yamakawa

## 実践者の振り返り（成果）

- ① 導入から活用までの、段階的な指導の具体例を提案できた
  - ② 限定的な言語運用能力を有する学習者の言語活動へのエンゲージメントを高められた
  - ③ 評価の場面における発話や聞き取りにおけるパフォーマンスの変化が見られた
- 3つのステージによる段階的な指導（泉,2016,253）により、学習者にCSの「導入」・「定着」・「活用」の各場面における指導の手順や具体的な活動例を整理し、実践できた。
  - 指導のステージに基づく計画により、CSの使用が想定される言語活動を位置づけ、各回の狙いに応じた焦点化したフィードバックを与えることができた。
  - CSの活用により、限定的な言語運用能力であっても、やり取りを続ける姿が目立った。
  - パフォーマンステストでCSの使用が強化されていなくても、相手の意図を把握する態度や英語の流暢さや発話量に大きな変化が見られた。

49

49

## 5. 成果と課題

Masahiro Yamakawa

## 実践者の振り返り（課題・今後に向けて）

- ① 「やり取りを継続できた」をいかに「思い通りにやり取りができた」へ近づけるか
  - ② 「互いの意図を分かり合おうとする」ために必要な資質・能力・態度への理解
- 活動後に自身の伝えなかった内容や理解しきれなかった内容を適切に把握し、今後の学習にいかにつなげられるか。
  - ➡自身のやり取りを振り返り、スパイラルな計画の中で、同様な活動で再度自身の伝えたい内容を表現する場面の設定
  - やり取りをする相手の意図を、多角的な視点（発音・場面・状況・関係性・タイミング）から汲み取ろうとする態度の涵養
  - ➡マルチリテラシーの観点から文化や言語の多様性から、様々な発話の意味を構築していく活動
  - 評価の場面と日頃の指導をつなぐ指導の充実、継続的な指導
  - ➡評価の場面でのパフォーマンスが原因で、自信をもてない生徒への対応

50

50

## 参考文献

Masahiro Yamakawa

- 泉恵美子・門田修平（2016）『英語スピーキング指導ハンドブック』大修館書店。
- 加藤由崇・松村昌紀・Paul Wicking・横山友里・田村祐・小林真実（2020）『コミュニケーション・タスクのアイデアとマテリアル 教室と世界をつなぐ英語授業のために』三修社。
- 上山晋平（2022）『英語トリオ・ディスカッション指導ガイドブック』明治図書。
- 柴田美紀・仲潔・藤原康弘（2020）『英語教育のための国際英語論』大修館書店。
- 鈴木祐一・白倉美里（2018）『日本の高校生の英語名詞句構造の把握能力—Koukousei Billy's (KB)テストの開発—』『外国語教育メディア学会（LET）関西支部 メソドロジー研究部会第11号報告論集』pp. 23-47。
- 田中武夫・田中知聡（2009）『英語教師のための発問テクニック』大修館書店。
- 文部科学省（2017）『中学校学習指導要領（平成29年告示）解説 外国語編』文部科学省。
- 文部科学省（2018）『高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 外国語編』文部科学省。
- David, K. & Peggy, D.K.（2012）. (2nd ed). *Discussion Strategies*. Pro Lingua Associates.
- David, K. & Peggy, D.K.（2014）. (3rd ed). *Communication Strategies*. Pro Lingua Associates.

51

51